

【神奈川県公共建築物震災対策訓練】

平成21年10月22日(木)午前9時～12時

横浜建設業協会は平成19年1月に神奈川県と締結した「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」により、震度6弱以上の地震が発生した場合、県庁舎、医療機関、警察署など横浜市内の29の県有施設に自動的に出動して点検・応急措置等を行います。

10月22日、神奈川県県土整備部営繕計画課、訓練対象施設の管理者、協力団体が参加して、地震発生直後から応急措置活動までの対応を想定した訓練が行われました。

午前9時、神奈川県西部を震源とするマグニチュード7・最大震度7～5弱の地震発生の想定のもとに、神奈川県庁舎を対象として自動出動訓練、情報受伝達訓練を行いました。

9時05分に協会本部を立ち上げ、9時30分、自動出動企業が訓練施設に参集し点検・応急措置を実施。

11時、点検・応急措置が完了し、協会本部に終了報告を行って訓練を終了しました。最後に、協会本部から営繕計画課に訓練の実施結果を報告しました。

参加団体	神奈川県建設業協会、神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜建設業協会、川崎建設業協会、川崎市空調衛生工業会
対象施設	神奈川県庁舎、横須賀合同庁舎、総合防災センター、高津合同庁舎
出動企業	神奈川県庁舎の自動出動訓練： (株)三木組 (株)白井組

【金沢区総合防災訓練】横浜建設業防災作業隊金沢方面班

平成21年9月26日(土)

金沢区の並木第一小学校で行われた金沢区総合防災訓練に金沢方面班が参加。

地震の影響で道路を遮断している土砂や倒木の撤去・運搬作業を行い、緊急輸送路を確保する道路啓開訓練を実施しました。



瓦礫や倒木を除去して輸送路を確保する金沢方面班

【南区の緊急輸送路巡回訓練】横浜建設業防災作業隊南方面班

平成21年9月14日(月)

防災作業隊南方面班は南土木事務所と合同の防災訓練に参加し、4班編成で管内7路線の緊急輸送路を巡回し、点検する訓練を行いました。



緊急輸送路を点検する南方面班



訓練参加の防災作業隊南方面班のメンバー

【旭北地区連合・拠点合同防災訓練】横浜建設業防災作業隊旭方面班

平成21年8月30日(日)

防災作業隊旭方面班は上白根小学校で行われた旭北地区防災訓練に参加し、緊急輸送路確保のための訓練を実施しました。通行の障害となっている倒木を切断し、重機でトラックに積み込んで除去する作業を行って輸送路を確保しました。



路上に散乱した倒木を切断し重機で積み込んで撤去

【横浜市防災総合訓練】横浜建設業防災作業隊栄方面班

〈訓練視察〉防災作業隊本部(安全防災委員会)、各区会長

平成21年8月30日(日)午前9時～11時

横浜市防災総合訓練のうち道路啓開訓練などが栄区内で行われ、横浜建設業防災作業隊栄方面班総勢16名が参加しました。当日は衆議院議員選挙の投票日と重なったため、地域防災拠点訓練 救援物資受入れ・配布訓練などは9月5日に延期され、緊急交通路確保・道路啓開訓練のみ実施されました。午前9時、南関東地域(相模湾)を震源とするマグニチュード7.9、市内最大震度7の地震が発生、栄区内の被害は甚大で、家屋の損壊、道路の損害、電気・ガス・水道等ライフラインにも大きな損害が発生したとの想定で訓練が始まりました。

防災作業隊栄方面班(中込班長代理以下総勢16名)は、栄区庄戸五丁目の市道で地震のために走行不能になった事故車両や倒木、瓦礫の除去・運搬作業など道路啓開訓練を実施しました。

防災作業隊本部(安全防災委員会)と各方面班長が訓練を視察し、栄方面班を激励しました。

会場	横浜市栄区庄戸五丁目1番地先、市道上
参加	6機関、団体
緊急交通路確保・道路啓開訓練の概要	<p><実施団体・人員等></p> <p>防災作業隊栄方面班:16名、ダンプ2台、ユニック車両(4t)2台 神奈川建設重機協同組合:クレーン(8トン)1台 栄土木事務所:パトロールカー1台、ホイールローダー1台、作業車1台、 監督車4台 栄警察署:ミニパト1台、マイクロ1台 神奈川中央交通:バス1台</p> <p><訓練内容></p> <p>検問所設置、緊急通行車両申請受付、倒木の切断・除去、運搬、 事故車両からの救出、事故車両の撤去、バス車内の避難誘導</p>
防災作業隊本部	20名(会長、副会長、安全防災委員会、各区区会長、県建設業協会横浜支部)



地震による事故車両を撤去して緊急交通路を確保



倒壊したブロックをドリルで切断して除去



道路の障害物～ブロック、倒木～の運搬

救助隊による事故車両の負傷者の救出



道路啓開訓練に当たった防災作業隊栄方面班 土木事務所長の講評を聴く訓練参加の各機関・団体

【横浜市公共建築物の震災時即時出動訓練】(社)横浜建設業協会

平成21年8月28日(金)午前8時30分～10時

横浜市は、市域で震度5強以上の地震が発生したとの想定のもとに、応急復旧活動の重要な拠点となる市区庁舎、消防署、病院などに建設関連業者が即時出動し、安全点検・応急措置を行う訓練を実施し、当協会も参加しました。

実施施設	即時出動対象51施設のうち、46施設
参加機関団体	<横浜市> 公共施設復旧班(まちづくり調整局公共建築部)、対象施設の管理者 <団体> 横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、 神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会
訓練参加	<横浜建設業協会本部> 9名(会長、副会長、建築委員会6名、事務局長) <訓練参加会員> 67社(81名) ・即時出動会員:41社(55名) ・バックアップ会員:26社(26名)
<訓練実施状況>	8:30 震度5強の地震発生。発生と同時に協会本部立ち上げ。 9:00～9:18 即時出動会員、バックアップ会員は担当する施設に急行し 施設管理者と協調して安全点検・応急措置を開始。 9:20～10:15 本部に各施設に即時出動会員より点検・応急措置終了の 報告が入る。 10:30 全ての施設の応急措置等が完了し、訓練を終了した。



地震発生と同時に協会本部を立ち上げ



各施設より続々と点検開始の報告